

トップページ>総合型地域スポーツクラブ>総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 とは

お知らせ
事業紹介
総合型地域スポーツクラブ育成プラン2023-2027
SC全国ネットワークとは
総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 とは
諸規程
SC全国ネットワーク登録クラブ
総会・常任幹事会
男女共同参画部会
ブロック別クラブネットワークアクション
イベント・セミナー情報
総合型クラブメールマガジン
クラブの自己点検・評価
クラブ運営等Q&A（SCステーション）
地域課題解決に向けた取組を行なうクラブ紹介動画
学校部活動地域連携・地域クラブ活動移行に向けた動画

## 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 とは

総合型クラブが、より公益性の高い「社会的な仕組み」として、永続的に充実した活動を行えるよう、第2期スポーツ基本計画（平成29年3月24日文部科学大臣策定）に基づき、日本スポーツ協会と都道府県スポーツ協会が関係団体と連携し、策定しました。令和4年4月1日から運用を開始しました。この制度は、総合型クラブが地方自治体等とパートナーシップを構築し、公益的な事業体としての役割を果たしていくために、活動実態や運営実態、ガバナンス等についての要件を基準としています。

### <総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 概要リーフレット>

概要は、リーフレットでご覧になれます。

冊子の配布は行っておりませんので、必要に応じてダウンロードしていただき、ご活用ください。

[・総合型地域スポーツクラブ全国協議会 登録・認証制度 概要リーフレット](#)



## 登録手続き

都道府県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（以下、都道府県協議会）へ登録申請書類を提出いただきます。

登録手続き方法については、ご所属の都道府県協議会にお問い合わせください。

### 総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 登録システム

登録システムとは、システム上で登録申請書類のデータを入力または添付し、総合型クラブから都道府県協議会へ申請することができるシステムです。

[総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度 登録システムマニュアル【総合型地域スポーツクラブ】](#)

・新規アカウント発行は[こちら](#)

・登録システムのログインは[こちら](#)

## 登録申請書類

以下の申請書類①～⑩の提出が必要となります。

※申請書類は上記登録システムから提出してください。

※申請書類①②は、登録システム上の申請フォームに直接入力してください。

登録申請書類一覧		データ
申請書類①	<a href="#">登録基準確認用紙</a>	—
申請書類②	<a href="#">基礎情報書類（総合型クラブ概要等）</a>	—
申請書類③	規約・会則・定款等	—
申請書類④	<a href="#">役員名簿</a>	
申請書類⑤	総合型クラブ内で承認を得た当該年度事業計画・予算	—
申請書類⑥	総合型クラブ内で承認を得た前年度事業報告・決算 <small>*申請年度に創設した総合型クラブは提出不要</small>	—
申請書類⑦	<a href="#">評価指標を用いた自クラブの自己点検・評価の結果</a>	
申請書類⑧	上記⑤及び⑥を議決した際の議事録 <small>*申請年度に創設した総合型クラブは⑥を議決した際の議事録は提出不要</small>	—
申請書類⑨	スポーツガバナンスウェブサイトを用いた自己説明・公表確認書	—
申請書類⑩	その他都道府県協議会が定める提出物	—

〈申請書類の様式に一部変更が生じる場合がございます。〉

日本スポーツ振興センター「スポーツガバナンスウェブサイト」

[スポーツガバナンスウェブサイト](#) （日本スポーツ振興センター/令和3年3月1日開設）

（1）国内のスポーツ団体の情報を検索・閲覧する

ここから  
ダウンロード



## 申請書類⑦

### クラブの評価・指標

申請書類②と同様  
移行措置の間における  
単発的なイベント等  
の参加費や月会費を支  
払っている者を  
会員とみなして良い

**自己点検・評価 実施マニュアル**

1. シートに直下の評価マニュアルを参考してください。  
 2. シートに記載された各項目の回答欄の横にあらかじめ確認し、シート右側の評価欄に点数を入れてください(記入欄の範囲内に記入)。

3. 自由欄にレポート用紙にて記入して下さい。

**【評価指標の考え方】** 会員・幹事会に当たるごとに、各項目は、前の段階を満たした上で、次の段階の内容を達成していること。例えば、「実施期間」は、「基盤組織」(発展段階)の内容を満たす上に、上へ「事業運営」(内容を満たしてある)についても満たすなど、段階的に内容が進んでいく。  
**【各項目】**

基盤組織	会員登録の手続きが完了していなかった場合	1
発展段階	定期的な活動を実施していなかった場合	2
充実段階	定期的な活動を実施し、さらなる持続可能な体制整備を実現していない場合	3
持続可能段階	定期的に示した内容を満たし、持続可能な体制を十分整備している場合	4

**■この指針と評価指標について**

日本スポーツ協会は、平成20年度に文部科学省が基準として策定したもので、  
 評合係りがラグビーの実施や安全的は活動するための要件・条件を  
 準拠するためには必要な要件・条件を  
 策定しています。

**【評価】** 定期的な会員登録により、通常な定期的活動を行なうために、次へのステップ

**■指針と評価指標を用いて自己点検・評価を行うと**

・指針の内容に沿ったクラブの現在地が把握できます。  
 例)会員登録の実施率は、何%ですか?会員登録を行なう目的の参考にどうぞ!

### あなたのクラブのプロフィールについて

市区町村名: \_\_\_\_\_  
 市区町村人口: \_\_\_\_\_  
 クラブ名: \_\_\_\_\_

以下の項目のうち、829以外は、スポーツ庁が例年実施している「総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」の内容と概ね同じです。

項目	説明	回答欄
会員	現在の総会員数	□
2. 会費	徴収している場合は「1」 徴収していない場合は「2」を選択してください。  「『徴収している』を選択されたクラブは、1人当たりの平均額を入力ください。」	□
【算出の仕方(参考)】 原則として下記のとおりですが、クラブの実情に応じて算出いただけます。 ○大人、子どもなどに分かれている場合は、その1人当たりの平均額とする。 ○保険料は含まない。 ○会員一人一人の会費など割引設定の会費は除く。 ○年会費の場合は、月当たりの額に換算する。 (例) ①大人(1,000円/月)、高校生(500円/月)、小・中学生(300円/月)の場合 $(1,000円 + 500円 + 300円) \div 3(種類) = 600円$ ②年会費3,000円・保険料1,500円の場合 *保険料は含まれず*に算出。 $3,000円 \div 12(ヶ月) = 250円$ ③種目により額や徴収の対象期間が異なる。(水泳=3,000円/6ヶ月、ヨガ1,000円/月)の場合 *各種目の月平均額を算出 $3,000円 \div 6(ヶ月) = 500円$		□
3. 法人格取得	取得している場合は「1」 取得していない場合は「2」を選択してください。	□
4. 活動内容	定期活動種目におけるスポーツ・レクリエーション活動種目(身体活動を伴う種目)数を入力ください。	種目
5. クラブマネジャーの配置	常勤で配置(週4日以上) 手当有り 手当無し  非常勤で配置 手当有り 手当無し	□

6. 事務局員(クラブマネジャーを除く)の配置	常勤で配置(週4日以上)	手当有り 手当無し	人
※配置されている場合は、該当する人数や額を入力ください。	非常勤で配置	手当有り 手当無し	人
7. 現在の予算	あなたのクラブの年間予算は概ねいくらですか? 「1」 1~1,000,000円 「2」 1,000,001~2,000,000円 「3」 2,000,001~3,000,000円 「4」 3,000,001~4,000,000円 「5」 4,000,001~5,000,000円 「6」 5,000,001~6,000,000円 「7」 6,000,001~7,000,000円 「8」 7,000,001~8,000,000円 「9」 8,000,001~9,000,000円 「10」 9,000,001~10,000,000円 「11」 10,000,001円~	□	
※クラブの年間予算をご教示ください。			
8. 事業計画への反映	あなたのクラブでは、今回の自己点検・評価の結果を活用し、事業計画の見直しに反映させる意向はありますか? ある場合は「1」 ない場合は「2」を入力ください。	□	
9. スポーツ振興くじ(toto・BIG・WINNER)助成金の受領	あなたのクラブでは、スポーツ振興くじ(toto・BIG・WINNER)助成金を受領していますか? 過去受領していた場合は「1」 現在受領している場合は「2」 過去、現在とも受領していない場合は「3」を入力ください。	□	
10. クラブの設立年数	あなたのクラブは、現在設立満年でしょうか?	□	半

JSPOクラブマネジャー

(違う例)

公財) 日本レクレーション協会: 公認レクレーションコーディネーター

公財) 日本スポーツクラブ協会: 全国スポーツクラブマネジャー

公財) 日本サッカー協会: SMC (スマネジヤーズ カレッジ) 本講座、SMC (スマネジヤーズ カレッジ) サテライト  
 ほか、営利法人マネジメントコンサルetc

申請書類②の数字(何年目)  
 から1を引いた満年

# 申請書類⑦

## クラブの評価・指標

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針			評価指標							
項目	数値	1 基盤			2 発展		充実		(左記数値を参考に、0~4を入力)	平均
		総合型クラブの創設・自立に向けて、活動基盤を整備している段階			一定の活動基盤を整備し、充実した活動を行うための体制整備に向けた発展段階		一定の充実した体制を整え、さらなる持続可能な体制整備を行っている段階			
JSPOクラブマネジャー	事務局体制の整備	○ クラブの運営が円滑にかつ効率的に行われるため、組織運営に関する豊富な知識と有したクラブマネジメント資格を保持する「クラブマネージャー」が配置されていること。	CM※1 及び事務局員の配置体制	いずれかを配置している	それぞれ1名を配置している	いずれかを複数名配置している	それを複数名配置している	0.0 点		
		○ 組織の充実・発展に伴い、専従事務局員の有償配置を含めた複数名による事務局体制が確保されていること。	CM 及び事務局員の配置条件※2	いずれか1名を有償で配置している	それぞれの1名を有償で配置している	それぞれの複数名を有償で配置し、うちどちらか1名が※4日以上東洋している	有償で配置している財源を自己財源※3で確保している	0.0 点		
		○ 公認マネジメント資格※4の取得(クラブマネジャー)	公認アシスタントマネジャー資格の登録者がいる	公認アシスタントマネジャー資格の登録者が複数名いる	公認マネジャー資格の登録者がいる	公認マネジャー資格の登録者が複数名いる	0.0 点			
		○ 公認資格※5を有するスポーツ指導者の確保	事業の半数未満で、公認資格を有する指導者を配置している	半数以上の事業で、公認資格を有する指導者を配置している	全ての事業で、公認資格を有する指導者を配置している	全ての事業で、指導を行う者は全員公認資格を有している	0.0 点			
		○ 指導者研修会の実施	クラブ内での研修会開催について計画している	クラブ内での研修会が不定期に開催されている	クラブ内での研修会が年に複数回開催されている	クラブ外の指導者研修会等へ年に1回程度、指導者を派遣している	0.0 点			
	諸資源の獲得	○ 受益者負担に関する理解	受益者負担の理解(財務的自立)	自己財源が総収入の25%未満である	自己財源が総収入の25%以上、50%未満である	自己財源が総収入の50%以上である	自己財源により(総収入の75%以上)、安定したクラブの活動が展開できている	0.0 点	0.0 点	
		○ 助成金、補助金等は、自助努力だけで確保できるものではなく、また一定の期限や用途などが設定されていることから、これらの財務的資源のみに頼らずクラブの活動が継続できること。								
		○ クラブの活動を行う上で必要不可欠な施設を安定的に確保するため、会員は公認ホスト施設の会員登録制度の活用又は管理委託等に上利用できること。	会員登録記録	学校体育施設の利用	当初の年間利用計画のうち50%未満の確保状況である	当初の年間利用計画のうち50%以上確保できる	当初の年間利用の計画のうち80%程度確保できる	施設の管理委託を受け、安定的に利用するとともに、地域の各クラブ・団体等間の利用調整も行っている	0.0 点	
		○ 地域住民等が行うための事務スペース、会員や地域住民が自由に利用できるサテライト施設等のスペース、会員が利用するためのサテライト施設等のスペース等の機能が確保されていること。	会員登録記録	会員登録記録	会員登録記録	会員登録記録	会員登録記録	会員登録記録		
		○ 活動拠点の確保※6	上記以外の施設の利用	当初の年間利用計画のうち50%未満の確保状況である	当初の年間利用計画のうち50%以上確保できる	当初の年間利用計画のうち80%程度確保できる	施設の指定管理者となって、安定的に利用するとともに、地域住民及び地域の各クラブ・団体等間の利用調整も行っている	0.0 点		
	活動拠点の確保※6	○ 事務局スペース(クラブハウス機能)の確保	事務作業ができる公的なスペース※7を確保している	必要な機材(電話・FAX・PCメール等)が揃っている	少人数で打合せを行う程度のスペースを備えている	会議専用の一室を備えている	継続的・安定的に利用できる	0.0 点		
		○ サロンスペース(クラブハウス機能)の確保	サロンスペースの確保に向けた行動を計画している	少人数の会員が集える程度のスペースがある	会員が自由に交流・談話できるスペースを確保している	地域の誰もが自由に交流・談話できるスペースを確保している	0.0 点			

(以下共通) 評価指標数  
1 ~ 4 を記入

# 申請書類⑦ クラブの評価・指標

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標									
指針		持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標							
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標									
指針		持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標							
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標
持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標	持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針	持続可能な総合型地域スポーツクラブの評価指標

持続可能な総合型地域スポーツクラブの指針および評価指標

指針			評価指標					評価 (左記数値を参考に、0~4を入力)	平均
			数値	1 基盤	2 発展	3 充実	4 持続可能		
成果の創出	⑥事業の多様性	多様の事業	○ 会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的なスポーツのサークルや教室活動又はスポーツ教室事業が充実していること。	サークル・教室事業 (スポーツ種目)	会員のニーズ・特性に配慮した定期的な事業を2種目程度実施している	会員のニーズ・特性が反映された定期的な事業を3~6種目実施している	会員のニーズ・特性が反映された定期的な事業を7~11種目実施している	会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な事業を1種目以上実施している	0.0点
			○ 会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な文化活動が充実していること。	文化活動の充実	実施に向けた行動を計画している	会員のニーズ・特性に配慮した定期的な事業を1種目実施している	会員のニーズ・特性が反映された定期的な事業を2~3種目実施している	会員のニーズ・特性が反映され、多くの会員が参加する定期的な事業を1種目以上実施している	0.0点
			○ 会員同士の親睦や連帯感を深める交流事業や季節に合わせて実施されていること。	会員交流事業	実施に向けた行動を計画している	年1回程度実施している	年2~3回程度実施している	季節に合わせて、年4回以上実施している	0.0点
			○ 会員のみならず、会員以外の地域住民を対象とした地域社会懇親会などをつなぐ交流事業が地域行事に合わせて実施されていること。	地域交流事業	実施に向けた行動を計画している	年1回程度実施している	年2~3回程度実施している	地域行事に合わせて、年4回以上実施している	0.0点
		②多世代化 (対象の拡大)	○ 幼児を含む子供から若者、高齢者の世代までの各年齢層がクラブの活動に参加していること。	多世代化 (対象の拡大)	多世代化を意識した活動を計画している	既存会員の世代分布に合わせた事業展開をしている	新規会員の獲得も視野に入れて、世代の多様化を意識した事業を展開している	幼・小・中・高年代、成年世代、高齢者世代の各世代に対応して幅広く事業展開をしている	0.0点
			○ 両かい・児・者・対象とした交流事業が実施されていること。						
		多志向化 (目的の拡大)	○ 障害のある方を問わず、楽しむ志向、健常志向、交流志向、競技志向等の各方向のニーズに応じて対応していること。	多志向化 (目的の拡大)	会員のニーズ・特性に配慮し、スポーツを楽しむ観点で多志向化に対応できる活動を計画している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、二つの志向に対応した事業を展開している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、三つの志向に対応した事業を展開している	楽しみ志向、健康志向、交流志向、競技志向など、多志向に対応した事業を偏りなく展開している	0.0点
			○ 会員が、スポーツ本来の「自発的な運動の楽しみ」の理解、身体能力の総合性を養う等の複数種目に参加する意欲を理解しいること。	複数種目の実施者	会員の5%程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の10%程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の20%程度が複数のサークルや教室などに参加している	会員の30%程度が複数のサークルや教室などに参加している	0.0点
		⑦クラブライフの定着	○ 会員が、クラブの活動の意義や役割を理解し、クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」の意識を有していること。	「マイクラブ」意識	会員の過半数が、クラブの活動の必要性を認識している	会員の過半数が、当該クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」意識を持っている	ほとんどの会員が、当該クラブに対する愛着や親近感などの「マイクラブ」意識を持っている	地域に「マイタウンクラブ」意識が浸透し、当該クラブに対して、諸組織・団体から年に複数回、連携・協働の依頼が寄せられる	0.0点
			○ 会員以外の地元住民や諸機関・団体が、自分の地域のクラブに対する愛着や親近感などの「マイタウンクラブ」の意識を有していること。						0.0点

\*1:「CM(クラブマネジャーの略称)」は、公認マネジメント資格を有し、運営の管理・調整等において主導的な役割を果たす者。

\*2:「雇用」に該当する場合は、労働基準法等の法令を遵守していること。

\*3:「自己財源」:総収入の内、ここでは「会費(年・月単位)」「参加費」「寄付金」「協賛金」「委託料(指定管理含む)」の合計金額とする。「補助金」「助成金」は除く。

\*4:「公認マネジメント資格」とは、クラブマネジャーに関する公認資格である。また、各段階の「アシスタントマネジャー」「クラブマネジャー」の知識・技能の程度は、(公財)日本スポーツ協会が公認する同資格の内容を標準とする。

\*5:「スポーツ指導者の公認資格の保有について」は、公認資格制度が整備されていない競技・種目を除いてカウントする。

\*6:「活動拠点の確保」については、行政・学校等から理解を得る必要がある。また、「学校体育施設」「公共スポーツ施設」「上記以外の施設」は、いずれかの施設一つを確保する。全ての施設を確保する必要はない。

\*7:「公的なスペース」とは、公共施設(もとより、誰でも自由にアクセスできる広く開かれている場所)を指す。

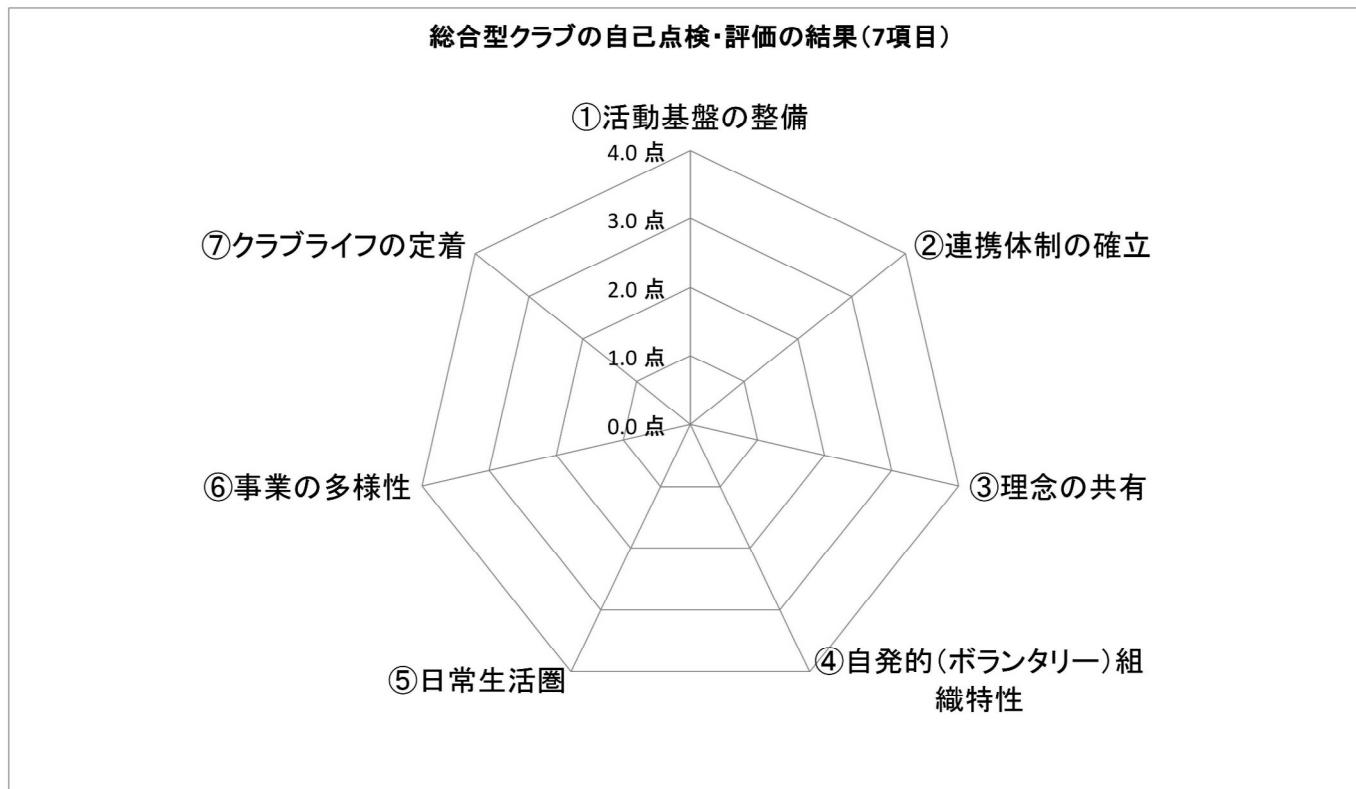
\*8:ここでは、クラブ事業への全参加者、賛助会員をいわ、(地域交流事業のみに参加する地域住民、運営委員及び事務局等を除く)

\*9:「支える」ための活動とは、各種の手伝い・協力をする、指導者になる、運営委員になる、寄付をする等をいわ。

\*10:日常生活圏上は、クラブが活動を行に当たって基盤(ターゲット)となる地域をいわ。その範囲は地域の実情によるもの、住民同士の顔が見える範囲(中学校区程度)が望ましい。ただし、地域の実情や要請に応じて活動範囲を広げることを、妨げるものではない。

\*以上を入力すると、次ページの結果が反映されます。

申請書類⑦<sup>7</sup>  
クラブの評価・指標



- 結果を踏まえて、自身のクラブの取組へ反映しましょう。
- 定期的に自己点検・評価を繰り返すことで、持続可能段階を目指しましょう。

自己点検・評価項目	平均
①活動基盤の整備	0.0 点
②連携体制の確立	0.0 点
③理念の共有	0.0 点
④自発的(ボランタリー)組織特性	0.0 点
⑤日常生活圏	0.0 点
⑥事業の多様性	0.0 点
⑦クラブライフの定着	0.0 点

\*以上の結果が反映されましたら保存して、終了です。  
これが**申請書類⑦**となります。